

地域とともに生きる住宅設備企業 商店的経営で心の通う付き合い

社員、家族、地域の 幸せを願う

糸島市で太陽光パネルの販売・施工、建築リフォームや防水・塗装工事を行なう(株)九州住建。「再生可能エネルギーの買取制度も始まり、業界自体は追い風が吹いているはずでしょう」と、笠俊治社長に問うと、意外な答えが返ってきた。「太陽光パネルが私たちの商材であることに間違いはないのですが、それが私たちの提供できる幸せかと言えば、違うような気がします。太陽光パネルは、メーカーさまの協力があって取り扱うことができています。したがって、太陽光パネルを購入していただいたお客さまの幸せは、すなわちメーカーさまがもた

笠社長にとつての事業とは、人の幸せをつくるものであり、お金は後から付いてくるものなのだというのである。「私や会社を支えてくれている社員の幸せを第一に願うようにしています。そのためには、社員を支えてくれる、社員の家族が幸せになってくれなければなりません。したがって、社員の家族の幸せも願うようになりまます。その家族は地域に暮らしていますから、

COMPANY INFORMATION

代表：笠 俊治
所在地：福岡県糸島市前原東1-6-3 双栄ビル1F
設立：2002年5月
資本金：1,000万円
TEL：092-332-1231
URL：http://q-j-k.sakura.ne.jp/

が生まれます。多くの人が人の幸せを願うようになれば、そのうち世界は幸せになると思うのです。小さくてもそのきっかけになれば嬉しいです」(笠社長)。

社員1人ひとりが幸せな環境で仕事ができるようになること。それによって家族、地域が幸せになること。これがどうやら、同社の考え方の根本にあるようだ。同社では、1つひとつの幸せを実現するために、まずは社員がイキイキと仕事ができる環境づくりに力を入れた。通常、営業とは、営業成績が良ければ良い、売れば官軍というような考え方を持っている企業が多いが、同社では異なる。売れるのは良いことだが、個人プレーは厳禁なのだ。チームで考え、アイデアを出し合い、みんなの前向きに進む——。誰かが誰かの足を引っ張ったり、誰かのアイデアを盗んだりといったことはまずない。それどころか躰いた同僚がいれば皆でカバーをする。まるで家族のように互いに互いのことを思いやり、優先して幸せな仕事を模索し、助け合いながら実行しているのだ。

「トップの強力なリーダーシップよりも、さまざま考え方が社内にあることが強い企業をつくると考えています。ですから、全員がイエスマンというような企業スタ

には当てはまりません。工部門は工事を、営業部門は営業を、経理は経理をという考え方の垣根を越えて話し合い、提案し合うことが社風になっておりまして。そして、若手であってもいいアイデア



(株)九州住建 代表取締役 笠 俊治

であれば採用するようにしています。自分の意見が通る会社で働くことは、言われたことをこなすよりもイキイキと仕事ができるのではないのでしょうか」(笠社長)。

笠社長は、「自分の幸せを望むのであれば、まず先に人の幸せを願うことが大切である」という言葉を座右の銘としている。そして、それを実行することで社員と

の絆を構築し、業績を高めてきた。お金は後から付いてくる。自分が正しいと思うことを1つずつ実行していけばよい。この考え方は、完全に全社員に浸透しており、それが強みとなっているのである。

商店のよこし 地域に根差すために

同社は、防水工事で技術を磨いてきた笠社社長が独立開業した会社である。独立後、すぐに壁にぶち当たった。営業を重ねたが、なかなか成果が上がらない。初年度の売上はなんと60万円だったという。

「家族の協力があつたから、仕事を続けることができず。家族の協力を削ったり、生活費を節約してくれたりして、必死になって私を支えてくれました。その経験で私は、家族や周りの方々の大切さを改めて思い知ったのです。それが現在の私、会社の理念を見出したと思います。その後、5年ほど前から、太陽光パネルの販売・施工を開始しました。当初は、社の財務状態や業歴など足りないものばかりで、クレジットの加盟店契約すらも整備できない状態でした。そういう苦難の間でも、お金は後から駆け込んで来る距離に自らを縛つたのである。同時に悪評が広がったら誰も相手にしてくれなくなるエリアでもあるため、リスクを自らに課したことになる。かつて街角で見かけたタバコ屋のように、地域との同化にこそ社の存続を賭けたのだ。

「売りっぱなしでよければ、悪評が広まる頃に次のエリアに移動すればいいので、おそらく気は楽かもしれませぬ。私たちは狭いエリアで顔と顔を突き合わせて商売をさせていただいております。自宅も糸島市にあります。私や社員がおかしなことをしようものなら、仕事はおろか、住むこともままならなくなります。正直にまじめに仕事を積み重ねることですか、我が社は存続し得ないのです。地元にごだわり、地元で根差した商売こそが私の理念に則していますので、これからもこのスタイルは変えるつもりはありません」(笠社長)。

笠社長は、地域の役員や社会貢献活動に積極的に参加している。そういつたつながりで絆が生まれ、幸せの連鎖が実現できるのだ。同社は太陽光パネルを通じて、より多くの人を幸せにすることを生業としているようだ。

「人の幸せを心から願えば、自分も幸せになれます。そ

付いてくると信

じて仕事を重ね

てきました。厳

しい時期の経験

があるからこ

そ、今があると

思います。そし

て、そこから脱

せられたのも理

念が揺るがな

かつたからだ

と思っております

す」(笠社長)。

太陽光パネ

ルを取り扱う

業者のなかに

は、詐欺まがいの営業をするところがあるという。売りっぱなしでアフターフォローなどはお構いなし。そんな企業との差別化を図るために、同社は逃げないことで信頼獲得に努めている。まず、営業エリアの拠点を本社のある糸島市にした。何かあつたら即座にお客さま

してお金は必ず後から付いてきます。信念を曲げずに心と心の商売を続けていきたいと思います」(笠社長)。

インターネットの時代、顔の見えにくい商売が隆盛を極めていく。そんな時代に人と人、心と心の通う商売を目指す同社からは、学ばべき点が多い。この思想が広がれば、世の中はより良いものになるのかもしれない。

代表者 Profile

笠 俊治

りゅう・しゅんじ

1972年、福岡市早良区生まれ。西福岡高等学校中退後、防水工事企業に就職。共進防水の屋号を掲げて02年に独立。07年に(株)九州住建として法人化。地域の役員を7年間務めるなど、地域活性化のためにも尽力。

ワンポイントPR

太陽光パネルの販売、施工を中心に糸島市で仕事をさせていただいております。皆さまの生活がより良くなり、地域に幸せの輪が広がるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本社にはショールームが併設されておりますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。



気軽に足を運ぶことができる、明るいショールーム